

「町中訪問シリーズ」 その3 総合福祉センター やすらぎの郷

保健センター、総合相談窓口、いけだデイサービス高姫が一体化となり、平成12年に建設された池田町総合福祉センター（やすらぎの郷）を紹介します。センターでは、町の健康福祉課と社会福祉協議会が様々な業務を行っています。

●健康福祉課

ここには、4つの係があります。

1つめは、福祉係です。主に高齢者福祉、身障手帳、療育手帳、精神障害者手帳、自立支援サービスなどの障害者福祉、特別児童扶養手当、児童扶養手当などの手当関係、民生児童委員協議会、総合福祉センターの管理など幅広い業務を職員4人でを行っています。

2つめは、地域包括支援センターです。

65歳以上の方の総合相談窓口です。介護予防、介護・生活支援、健康等の相談から介護保険や様々なサービスへ

係機関等と連携して解消に向けた支援を行っています。職員は5人です。

●池田町社会福祉協議会

【略して、池田町社協（しゅきょう）と呼んでいます】

池田町総合福祉センターでの池田町社協の事業は、大きく分けて4つあります。

1つめは、地域の支え合い活動を推進する事業です。ふれあい・いきいきサロンやサポートしてる、いけだボランティアセンターなどを、5名の職員が担っています。

2つめは、生活全般に関することの相談支援事業です。心配ごと相談所、生活資金貸付、就労相談や金銭管理などを、職員5名が兼務しています。

3つめは、子育てに関する支援事業です。

親と子の愛着形成をサポートする助産師訪問やファミリーサポートセンターへの託児などを、4名の助産師と職員3名が兼務しています。ボランティアが作成した赤ちゃんへのプレゼントを民生委員届ける活動も行っており、お子さんの誕生を地域でお祝いしています。

4つめは、高齢者・障がい者への介護・福祉サービスです。

自宅での訪問サービスでは、9名のホームヘルパーが訪問介護や生活支援を実施しています。また、3名の看護師が在宅医療の一端を担っています。

通所サービスでは、大きいお風呂・座ったまま入るお風呂・寝て入るお風呂があり、入浴機器が充実した「いけだ



31日は衆議院議員総選挙

投票に行きましよう！

31日投票開票で、衆議院総選挙が行われます。最近の総選挙の投票率は50%少々です。あと20%の人が投票すれば、与野党逆転が実現できます。「政治は変えられる」「政治はあなたのためにある」と、投票に行くことを家族・友人・知人に声掛けをしましょう。

4月に行われた3つの参院補欠選挙では、与党の候補が全敗。市民と野党の統一候補が全勝しました。7月の東京都議選でも政権与党は過半数の議席を確保

できず、市民と野党の統一勢力が議席を拡大しました。

長野県は全国に先駆けて、5選挙区すべてで市民と野党の統一候補となりました。

私たちは「コロナ危機を乗り越え、暮らしに安心と希望を」の合い言葉のもと、以下のように主張しています。

1. 医療、介護、保育、障害者福祉など、ケアを支える政治に。
2. 働く人の「使い捨て」をやめさせ、8時間働けば普通に暮らせる社会に。
3. お金の心配なく学び、子育てできる社会に。
4. コロナ危機で困難に直面している中小企業、農林水産業を支援し、地域経済を立て直す。

5. 税金の不正をただす、消費税減税、富裕層・大企業への優遇をなくす。
6. 気候危機打開と一体に、災害に強い社会をつくる。

総選挙で投票するにあたり、考えなければならぬ課題は、「憲法に基づく政治の回復」「核兵器禁止条約批准」「沖縄辺野古新基地建設の中止」「崩壊している医療の立て直し」「コロナ禍での倒産や失業等への財政支援」「格差と貧困の是正」「原発のない脱炭素社会の実現」「ジェンダー視点に基づいた自由で公平な社会の実現」「森友・加計問題や桜を見る会疑惑の真相究明」「日本学術会議の推薦通りの会員任命」などです。

あなたの一票で「政治は変えられる」と周りの人に呼びかけましょう。

文芸欄

今号は川柳です

- ガソリンの値上がる日々や旅は夢
- 聞く耳も三番センじじゃ期待ゼロ
- 老猫病む爺のちよう愛一身に

由美

山茶

のりこ



コラム 有明

半年ほど前になるか、我が家の庭で4匹の子猫を育てた猫がいた。子猫が見向きもしないような大根の切れ端を持って来たり、かいがいしく子育てをしていた。親子とも家人に懐かなかったが親の愛情を感じほえましく見守っていた▼その猫が今度は玄関に胎盤付きの子猫を産み落とした。全く動かず死んでいるようだったので、吊つてやろうと家に入り準備して戻るとなんとゴソゴソと動きだすではないか。自分がこの子の命を託されたのかなと思い、飼うことを決断した。75グラムの体重が少し増えはじめ、なんとなく愛情が芽生えた矢先死んでしまった。生命や愛情について改めて考えさせられた▼こんなことを経験した直後、自民党総裁選で「新しい資本主義」をめざすというスローガンが飛び出した。日本が推し進めてきた資本主義は市場競争に頼る新自由主義の考え方である。貧富の格差を増大させ、地球環境の破壊も考えない、まさに人類愛の入り込む余地などありえない。岸田首相の所信表明ではスローガンの輪郭さえ見えてこない。猫にも劣る内閣だろうか。